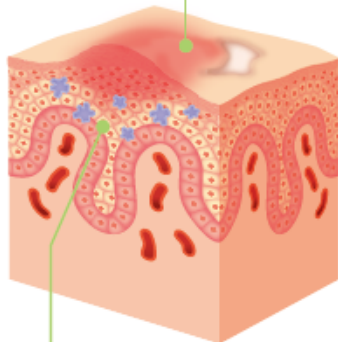


## 乾癬の原因

乾癬患者さんの皮膚では①角化細胞(皮膚の表面の細胞)の異常な増殖、②炎症が起こっています。

### ①角化細胞の異常な増殖(皮膚表面)

健康な人よりとても速く角化細胞が増殖するため、皮膚が厚くなり、アカのようにポロポロ落ちます(鱗屑)。



### ②炎症(皮膚内部)

免疫のバランスが崩れて自分自身を攻撃し、皮膚が赤くなったり、かゆくなったりします。

※免疫…体内に細菌などの異物が侵入しないようにしたり、侵入した異物を攻撃したりするしくみです。

※炎症…免疫のはたらきの一つで、白血球が異物を攻撃するしくみです。血管が広がるため、皮膚が赤くふくらみます。

## 日常生活で気をつけてほしいこと

### ●副作用

「何かいつもと違う」と感じたら、自分で判断せず、すぐに医師に相談しましょう。副作用は、早期に適切な治療を行うことで重症化を防ぐことができます。



### ●食事

バランスのとれた食事を心がけましょう。高カロリーで脂肪の多い食事は乾癬によくありません。



### ●喫煙・アルコール

喫煙、アルコールは乾癬を悪化させる可能性があるため、できる限り控えるのが望ましいでしょう。



※詳しくは医師に相談してください。

医療機関

# 乾癬の治療法

かんせん 知っておこう

乾癬は治りにくい病気とされていましたが、最近では、多くの患者さんの症状を抑えることができるようになってきました。治療を始めてもすぐに改善しないこともあるかもしれませんが、根気よく続ければあなたに合った治療がきっと見つかります。

【医師】

NTT東日本関東病院皮膚科 五十嵐 敦之 先生

IWAKI SEIYAKU CO., LTD.

提供：岩城製薬株式会社

2016年9月作成

## ぬり薬による治療

## ぬり薬の作用

## その他の治療

### ぬり薬

乾癬治療のベースになります。

ぬり薬は大きく分けて2種類あります。

#### ●ビタミンD<sub>3</sub>外用薬

- 角化細胞の増殖を抑えます。
- 効き目が現れるまで時間がかかります(1週間~2ヵ月)。
- 薬をぬった部分がヒリヒリすることがあります。

#### ●ステロイド外用薬

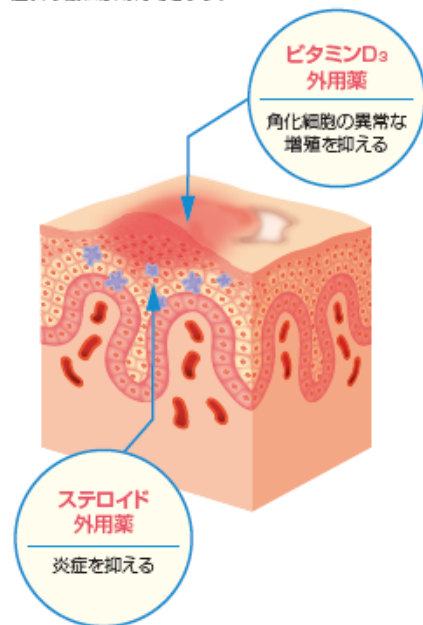
- 炎症を抑える作用があります。
- 比較的速めに効き目が現れます。
- 長期間の使用によって皮膚が薄くなるなどの副作用が現れることがあります。

#### ●配合薬・併用療法

- 配合薬は2種類を1つにまとめた薬で、どちらか一方をぬるよりも大きな効果が期待できます。
- 2つの薬を同時に使ったり、時期や部位を分けて使ったりする併用療法もあります。



ぬり薬を適切に使用することで、大半の患者さんで症状の緩和が期待できます。



#### ビタミンD<sub>3</sub>外用薬

角化細胞の異常な増殖を抑える

#### ステロイド外用薬

炎症を抑える

#### 副作用の例

- 薬をぬった部分がヒリヒリする
- 皮膚が薄くなり、出血しやすくなる

副作用が現れても、自分の判断で治療を中止せず、すぐに医師に相談してください。

ぬり薬だけで十分に症状が改善しない場合、ぬり薬に加えて、のみ薬、紫外線、注射薬による治療を併用します。

### のみ薬

ぬり薬が効きにくかったり、症状が全身に出たりしたときに使います。

炎症を起こす物質が作られないようにしたり、角化細胞の増殖を抑えたりします。



### 紫外線

紫外線を照射することで免疫のはたらきを抑えんと考えられています。



波長が異なるUVAやUVBを照射します。

### 注射薬

免疫の異常を引き起こす体内物質を標的にする薬です。

バイオテクノロジーを利用した新しい治療法です。現在、数種類の製剤が使用されています。

